

未来への足跡

宗祖降誕八百年慶讃事業 担当委員長・岡 要樹

いよいよ日蓮聖人と、オンラインでの降誕八百年の聖日をお迎えします。全日青の宗祖降誕八百年慶讃事業担当委員会では、宗門の青少年サミットPTとともに、全国の大勢の子どもたちを集めて一緒に祝いをする行事を準備しておりましたが、コロナ禍の影響で大きな方向転換を余儀なくされました。

そこで全国の青年僧の新しいアイデアを集めるべく、各地の青年会の会長たち



実践できそうなアイデアもあれば、「花まつりや宗祖降誕会をクリスマスに負けない文

化に！」といった、出席者全員がうなずきつつも、具体的な方法となると頭をかかえてしまう大きな夢についても語り合いました。まだまだ時間がかかるかもしれませんが、降誕八百年がゴールではないように、青年僧もまた、八百年の歴史とともにその先を見つめております。

私にとっては、全国各地から青年僧が一堂に会し、揃いの衣で行脚に出発することを恋しく思う一方で、このような交流は新鮮な経験でした。法務に影響が少ないように夜の時間帯のオンライン会議でしたが、境内に積もる雪の心配をする僧侶、地元消防団に召集される僧侶。画面に映る遠く離れた青年僧の、日常の奮闘を感じることができました。

節目とは、日常の積み重ねがあつてこそ意義深いものだと思います。全国各地の青年僧が毎日の中で積んできた経験や、智慧を共有すれば、青年僧みんなの自信や力に変わり、全国のお寺や地域における、子どもたちや檀信徒の皆さまとの活動に活かせるはずですよ。大きく欲張るより、少しずつ良くなるように、宗祖降誕八百年の折にも、日蓮宗青年僧が力を合わせた足跡を残せるよう、努力して参ります。

青年僧の智慧を集めて大きな力に

◇ ◇

岡 要樹 昭和55年1月18日生まれ。立正大学卒業。北海道南部日青会。北海道福島町妙蓮寺住職。